

研究課題名	脂肪肝に対する診断および薬物療法に関する観察研究
試料・情報の利用目的・利用方法（他機関へ提供する場合その方法）	アルコールや代謝機能不全に関連した脂肪肝患者は増加傾向にあります。脂肪肝が悪化すると肝臓が線維化(肝臓の慢性的な損傷や炎症が継続することで起こる傷跡を指します)し、いずれ肝硬変へと移行しますので、線維化しやすい患者さんを抽出し適切にフォローすることが重要とされています。このため、肝臓に針を刺して調べる検査ではなく体に傷をつけないような方法で効率よく線維化しやすい患者さんを拾い上げる方法を検討することは、脂肪肝の診療において有意義なものと考えます。また、線維化改善に役立つと近年報告されている SGLT2 阻害薬(尿に糖を出すことで血糖を下げる薬)や GLP-1 受容体作動薬(血糖値を下げる「インスリン」を作ることを助ける薬)、ペマフィブラート(中性脂肪を下げ HDL コレステロールを上げる薬)等の効果について情報を収集し解析することで、今後の治療に役立つと考えます。
研究対象者	2008 年以降にベルランド総合病院消化器内科へ脂肪肝、あるいは脂肪肝のうたがいで受診された方
利用又は提供する試料・情報の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させていただきます。 患者背景：生年月（年齢）、性別、既往歴、嗜好歴、内服歴、併存疾患、病理組織結果、PS (performance status)※、治療開始日 薬剤導入時の患者背景：年齢、身長、体重、BMI、嗜好歴、内服歴、併存疾患 薬剤導入後の経過：薬剤の種類、投与量、投与期間、血液検査・画像評価、治療経過 血液検査：血算、生化学、凝固、線維化マーカー、腫瘍マーカー 画像検査：胸部 X 線、CT、MRI、MRE（肝臓の線維化を非侵襲的、簡易的に診断するための MRI の撮影方法）、EGD（上部消化管内視鏡）、EGD、Inbody（インピーダンス法による体組成測定） （※PS：全身状態の指標であり、患者さんの日常生活の制限の程度を示します）
研究予定期間	機関の長の実施許可日 ～ 2029 年 12 月
試料・情報の取得方法	通常診療の過程で得られます
試料・情報を利用する者の範囲	この研究はベルランド総合病院 消化器内科のみで行います
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は機関の名称	ベルランド総合病院 消化器内科 氏名：安 辰一
研究に協力したくない場合	研究への試料・情報の利用についてご同意いただけない場合は下記お問い合わせ先までお申し出ください。不同意の場合でも診療に不利益になることはありません。
利益相反について	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問合せ先	ベルランド総合病院 消化器内科 氏名：安 辰一 メールアドレス：t_an@seichokai.or.jp 〒599-8247 堺市中区東山 500-3 Tel：072-234-2001（代）